

平成24年度水と緑の森づくり事業の実施状況

○ 富山県水と緑の森づくり基金積立額	361 百万円
内訳 水と緑の森づくり税込相当額	350 百万円
寄付金、運用益	11 百万円

○ 水と緑の森づくり事業実施額	345 百万円
-----------------	---------

※百万円以下四捨五入により各事業の和と事業実施額は一致しない。

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善

I 水と緑の森づくり推進事業	3 百万円
----------------	-------

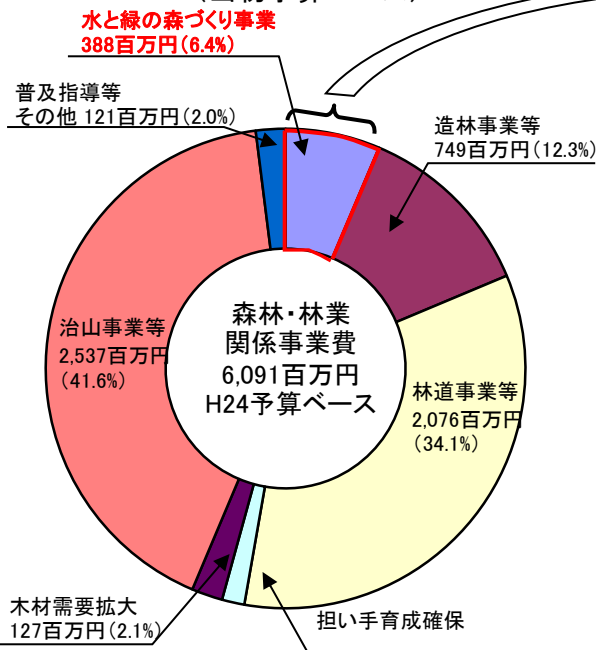
水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

II 里山再生整備事業	126 百万円
III みどりの森再生事業	147 百万円
IV 実のなる木の植栽事業	7 百万円
V 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業	8 百万円

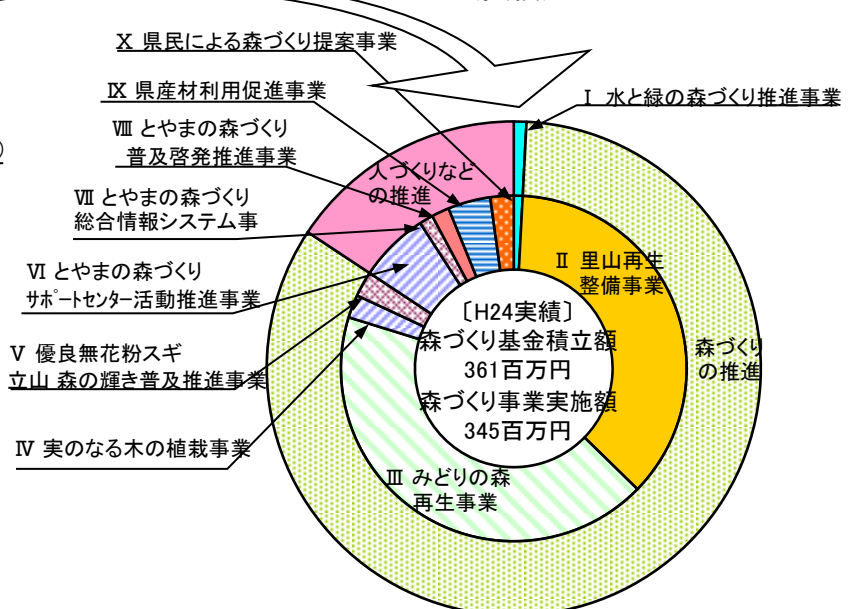
とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進

VI とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	23 百万円
VII とやまの森づくり総合情報システム事業	4 百万円
VIII とやまの森づくり普及啓発推進事業	6 百万円
IX 県産材利用促進事業	14 百万円
X 県民による森づくり提案事業	8 百万円

平成24年度富山県森林・林業関係事業費の内訳
(当初予算ベース)



平成24年度水と緑の森づくり事業費の内訳
(実績)



※事業費には森林整備・林業再生基金事業を含む

富山県森づくりプラン後期計画の主な目標と実績・計画

後期計画（H24～28）の目標と年度別実績について

○ 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

(単位:ha)

年度	前期実績 H19-23	後期計画			全体 H19-28	
		H24実績	H25計画	H26-28		
整備面積	1,296	260	229	815	1,304	2,600
新規地区数	156	34	27	94	155	311

整備実施例

地域住民との協働による
里山林整備
(富山市猪谷地内)



混交林の整備

(単位:ha)

年度	前期実績 H19-23	後期計画			全体 H19-28	
		H24実績	H25計画	H26-28		
整備面積	693	165	154	488	807	1,500

整備実施例

風雪被害林整理
(砺波市寺尾外地内)



○ とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

(単位:人)

年度	前期実績					後期計画	目標 H28
	H19	H20	H21	H22	H23	H24見込み	
年間参加延べ人数	6,920	10,033	10,999	10,262	10,775	11,000	12,000



森林ボランティアによる
森づくり活動



森づくりに必要な基礎技術
などを指導する森づくり塾



森づくりボランティア
交流会を開催

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成24年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者等から幅広く意見を伺いました。

平成24年4月24日

議題

- ・ 森づくりプラン前期計画の実績とH23年度事業の実施状況について
- ・ 森づくりプラン後期計画の概要とH24年度事業の取組みについて
- ・ 県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査
- ・ 水と緑の森づくり表彰団体の決定について

主な意見

- ・ 実のなる木の植栽について、ブナの造林は難しいと聞くので、よく調査をして実施して欲しい。
- ・ 森づくり活動を継続して行っていくために、活動を指導するリーダーの養成に力を入れて欲しい。

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました

平成24年10月4日

内容

- ・ H23年度の事業評価の実施
- ・ H19年度に実施した森林整備の5年経過後の評価の実施

主な意見

- ①平成23年度事業の評価について
 - ・ この5年間で森づくり事業には、多くの県民が関心を持ち参加し、大きな成果が上がっている。富山県として誇れる良い事業となった。
- ②平成19年度水と緑の森づくり事業による森林整備の5年経過後の評価について
 - ・ みどりの森再生事業は、いずれの事業地も高木性の広葉樹がかなりの割合で混交し、非常に成果が上がった。



水と緑の森づくり会議開催状況



森林審議会森づくり部会開催状況

(3) 森づくりの広報等

水と緑の森づくりの取組みについて、広く県民の皆さんに広報を行いました。

- 7月1日 地産地消県民交流フェアに出展（富山市・環水公園）
- 10月13日 県政番組の放送（KNB）（森づくりプラン後期計画について）
- 2月10日 TBS系列「夢の扉+」の放送（優良無花粉スギの開発）
- 2月21日 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」日比谷公園における記念植樹
- 3月29日 FMとやま「知事の県政ざっくばらん」（水と緑の森づくりについて）

日比谷公園における優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の記念植樹実施状況



沼田林野庁長官(左)、石井知事(中央)、
安藤東京都副知事(右)による記念植樹



植樹後、森林研究所・斎藤研究員、
とやま特産大使を交えて記念撮影

(4) 県民参加の森づくりフェア

富山県森づくりプランの5年間の実績を広く県民に紹介するとともに、実際の森づくり活動体験を通して県民参加の森づくりの重要性を普及啓発し、県民参加の森づくりを加速化するため「県民参加の森づくりフェア」を開催しました。

平成24年5月23日（南砺市・桜ヶ池公園）

内容

- ・水と緑の森づくり表彰
優良な活動を行っている森林ボランティア団体、企業を表彰（5団体）
- ・水と緑の森づくり表彰受賞者と知事との森づくりトーク
森づくり活動について、知事と受賞者との意見交換
- ・森と連携した海づくり展
森づくりとの関連が深い「豊かな海づくり」について、高岡市立太田小学校児童による活動報告・活動宣言
- ・車両の贈呈式
中越パルプ工業(株)から知事へ、サポートセンター業務用車両のゴールデンキーの贈呈

県民参加の森づくりフェア実施状況



水と緑の森づくり表彰



車両の贈呈式

—水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進—

Ⅱ 里山再生整備事業

○趣 旨

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

○平成24年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを目指して、里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動の支援などを行ないました。

【平成24年度実績】

事業実施地区	64地区（10市町）
対象区域面積	458ha（H24新規 260ha）
事業主体	市町村

4年目以降の地区への支援
83地区（13市町、766ha）

実施例：氷見市指崎地区



整備前
タケが再生し、見通しの悪い里山



タケノコ掘りやサクラの植樹など、美しい里山を再生するための様々な活動を実施



整備後
再生竹が整理され、サクラが植栽された明るい里山

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

【平成24年度実績】

事業実施地区	29地区（12市町）
除去量	2,523m ³
事業主体	県、市町村



道路沿線にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用促進事業

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の講習を行いました。

【平成24年度実績】

- とやまの竹資源ネットワークの活動（3月末現在 123団体参加）
竹材回収車（かぐやの竹舟号）の運行案内、調整
- かぐや姫の里の集いの開催（10月20日 161名参加）
竹林整備のための技術講習、理想の里山づくりの事例紹介等
- とやまの竹資源ネットワーク講習会の開催（3月2日 111名参加）
竹資源の利用を図る講習や竹オガ粉を利用したキノコの菌床づくり等
- 里山リーダーセミナーの開催（県内各地 8回開催）
里山再生整備事業実施地域における森づくり活動を継続するため、地域にマッチした里山林の利活用方法や整備方法を指導

事業主体 県



竹資源ネットワーク講習会における「竹オガ粉によるきのこ菌床づくり」の指導



「里山リーダーセミナー」における機械操作技術の指導



「かぐや姫の里の集い」において、竹林の安全な整備のための技術講習、理想の里山づくりの事例を紹介

Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成24年度事業の実績

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理を行うとともに、広葉樹を植栽しました。

【平成24年度実績】

整 備 面 積	<ul style="list-style-type: none"> ・風雪被害林整理 15.8 ha ・過密人工林整理 109.0 ha ・侵入竹林整理 40.1 ha 	}	計 164.9 ha
事 業 主 体	県		

《実施例》

風雪被害林整理

(小矢部市安楽寺 地内)



台風や積雪による被害を受けた人工林を整理

過密人工林整理

(富山市長川原 地内)



手入れが行き届かず、過密になった人工林を整理

侵入竹林整理

(魚津市金山谷 地内)



スギ人工林に拡大・侵入した竹林を整理

(2) 県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、森づくりに必要な苗木を育て、風雪被害林整理跡地に植栽するとともに、森林ボランティア団体等に配付し、森づくり活動に使用しています。

【平成24年度実績】

育 成 本 数	ブナ、ミズナラなど 20,000本
事 業 主 体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）

Ⅳ 実のなる木の植栽事業

○趣 旨

カシノナガキクイムシによる被害を受けた奥山で、森林の公益的機能の回復を図るとともにクマなど野生動物の餌場の確保を図るため、ミズナラやブナなどの実のなる木を植栽します。

○平成24年度事業の実績

(1) 実のなる木の植栽の実施

カシノナガキクイムシによる被害を受け、ナラ類が集団的に枯損した奥山において、ミズナラやコナラなどの実のなる木を植栽しました。

【平成24年度実績】

事業実施箇所	7地区（4市町）
植栽本数	ミズナラ、コナラなど 13,840本
事業主体	県

《実施例》

魚津市坪野 地内



上市町伊折 地内



V 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業

○趣 旨

花粉症対策の一環として、富山県生まれの優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を図るため、スギ花粉飛散に強い影響を及ぼしている人工林の伐採跡地での植栽を支援するとともに、苗木の生産体制を整えます。

○平成24年度事業の実績

(1) 「立山 森の輝き」の植栽を支援

スギ人工林の伐採跡地における優良無花粉スギの植栽を支援しました。

【平成24年度実績】

植栽面積・本数 2.1ha（入善町、上市町、富山市、氷見市、南砺市の5箇所）、4,200本
事業主体 森林所有者

《実施例》



南砺市向野 地内
地域住民も参加して、「立山 森の輝き」を植栽



入善町舟見 地内

(2) 「立山 森の輝き」植樹の集い等の開催

広く県民の皆さんや全国に向けた普及PRを行うため、「立山 森の輝き」の植樹イベントを開催しました。

【平成24年度実績】

① 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」植樹の集い（平成24年11月10日）

場 所 立山町座主坊ほか
参加者 石井知事、舟橋立山町長、大野県議会副議長、高平県議ほか 150名
内 容 「立山 森の輝き」の植栽(300本)、優良無花粉スギの育成施設の見学など

② 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の記念植樹（平成25年2月21日）

場 所 東京都千代田区 都立日比谷公園かもめの広場（郷土の森）
参加者 石井知事、沼田林野庁長官、安藤東京都副知事ほか 約100名
（NHK、TBS、日本テレビ等のキー局、朝日新聞、毎日新聞の全国紙等 報道機関27社を含む）
内 容 「立山 森の輝き」の記念植樹、「立山 森の輝き」の開発経緯等の説明

「立山 森の輝き」植樹の集い



植樹する知事と花とみどりの少年団



採種用ハウスの見学

日比谷公園での記念植樹



植樹を終えて記念撮影

Ⅵとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成24年度事業の実績

(1) 登録団体数等（平成25年3月末現在）

一般登録 : 88団体 3,377人（内、個人登録者数54人）
企業登録 : 46企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し、総点検
- ・登録ボランティア団体への活動経費や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のため「森づくり塾」を開催
自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いや交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・業務車両のラッピングや森づくり活動のPRパンフレットの作成・配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



県民参加の森づくりの啓発やボランティア交流を深める「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

Ⅶ とやまの森づくり総合情報システム事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

○平成24年度事業の実績

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

また、平成23年度に市町に導入した「森林GISシステム」により、水と緑の森づくり事業実施区域など様々な森林情報を共有しています。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムで紹介しています。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

森林GISシステム



市町と様々な森林情報を共有しています。

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》



《事業実施状況の情報（みどりの森再生事業地）》

みどりの森再生事業 箇所別実施進捗

事業実施地	面積	面積	割合
新築地	100	100	100%
改修地	100	100	100%
計	200	200	100%

事業実施状況

水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

Ⅷ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成24年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しています。

【平成24年度実績】

開催回数 90回 (14市町)
内訳 (出前講座 55回 (参加人数 2,953人))
 (森林教室 35回 (参加人数 3,731人))

「森の寺子屋」実施状況



「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



宿泊学習の機会を利用して、下草刈りの体験をしています。

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

【平成24年度実績】

スキルアップ研修の開催 1回 (平成25年3月2日)

(3) フォレストリーダーの養成

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーの養成講座を開催しました。

【平成24年度実績】

養成講座の開催
平成24年度認定者

全10回 (平成24年6月16日～10月27日)
63人 (認定者累計174人)



スキルアップ研修開催状況



養成講座 (樹木分類学) 開催状況

Ⅸ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った公共建築物等の木造化や内装木質化、備品や遊具等の設置を進めます。

○平成24年度事業の実績

(1) 公共建築物等県産材利用促進モデル事業

①木造公共施設等整備

- 市町やNPO法人が実施する木造公共施設等の整備に対し支援しました。
【実施施設数 5施設 中部コミュニティセンター（富山市）
下立まちおこしセンター（黒部市）他】

②公共施設の内装木質化・備品導入

- 内壁の木質化や県産材を使ったテーブル等の導入に対し支援しました。
【実施施設数 6施設 高志の国文学館（富山市）、本江小学校（魚津市）他】

(2) 木育推進事業

①県産材こどもの城づくり事業

- 園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。
【実施施設数 2施設 中加積保育園（滑川市）、栴檀野幼稚園（砺波市）】

②特別支援学校用机・椅子の導入

- 県産材を活用した特別支援学校用の机、椅子を県内の特別支援学校に配布しました。
【実施学校数 9施設 しらとり支援学校（富山市）、高岡支援学校（高岡市）他】



公共建築物等県産材利用促進モデル事業
（下立まちおこしセンター（黒部市））



公共建築物等県産材利用促進モデル事業
（高志の国文学館（富山市））



県産材こどもの城づくり事業
（中加積保育園（滑川市））



特別支援学校用机・椅子の導入
（しらとり支援学校（富山市））

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—
X 県民による森づくり提案事業

〇趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

〇平成24年度事業の実績

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成24年4月24日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

【平成24年度実績】

- 実施件数21件
- 主な活動内容
 - 地域住民や小中学生が参加した、里山整備の取り組み
 - 荒廃竹林を整備し、明るい里山の再生と、竹材利用の取り組み
 - 県民に森林に親しんでもらう自然観察会やワークショップの開催

活動状況



小羽地域の森林内の体験活動小屋を拠点に、周辺の森林整備や森林観察会を、地域住民や学生も参加して実施。（NPO法人こば）



冬には、学校林において伐採したクロモジを活用したかんじきを作成し、積雪の学校林で動物の足跡や冬芽を観察する「かんじきハイク」を実施。（上市町立南加積小学校PTA）



地域の里山において、林内の古道の刈払、階段や案内板の設置等の整備、山間休耕田でビオトープ造成や植樹、ホタル幼虫の放流を実施するなど、魅力ある中山間地域を目指し活動。（院瀬見自治会）



里山の森林整備や竹炭づくり、登山道への案内板の設置、林間を利用したコナラの植樹やヒマワリ、ギョウジャニンニクの栽培等幅広い活動を展開。（しんゆう倶楽部）

